8・9月号 光あふれる西柴
学校だより
令和８年８月２７日
横浜市立西柴小学校
横浜市金沢区西柴 4-23-1
TEL 045-783-1182
校長　永島　典子
e-mail　y3nisisi@edu.city.yokohama.jp
http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishishiba

子どもたちの主体的な学びをめざして

教務主任

長い夏休みが明け、学校には子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。校内は一気に活気にあふれています。夏休みの様々な体験を通して、子どもたちは心も体もひと回り成長したことと思います。

毎年、夏季休業中に横浜市の教職員が集まり、子どもたちの学びをさらに充実させるために授業の進め方や教育活動について学び合う研修会「教育課程研究協議会」が開催されています。今年度は、「子ども主体の学び」をどのように実現するかがテーマとして取り上げられました。「子ども主体の学び」とは、子ども自身が興味をもって、他者と協働しながら積極的に学ぶとともに、学習活動を振り返って次につなげるなど、学びの主役である一人ひとりの子どもが、自らの学びを創っていくことです。

本校においても、重点研究として「算数」に取り組んでおり、今年で3年目を迎えます。研究テーマは、『自分の思いを表現したり伝え合ったりする子の育成をめざして ～「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくり～』です。授業の中で目指す「主体的・対話的で深い学び」の子どもの姿を明確にし、その実現に向けた教師の働きかけや学習形態の工夫について研究を進めています。7月までに、2年生と4年生で研究授業を実施しました。子どもたちが算数の学び方を自ら選択しながら学習を進める授業でした。問題解決に取り組む際には、タブレット端末のロイロノートの共有ノートを活用して友達の考えを参考にしたり、ペアで考えたり、担任に説明したりするなど、自分に合った学習方法を選びながら学習を進めました。また、一人で学ぶか友達と学ぶかといった学習の場も自ら選択し、図や式を用いて自分の考えを説明しようとする姿が見られました。このように、従来の一斉授業だけではなく、学び方や考え方、学習の進め方を子どもたち自身が選択できるようにすることで、主体的に学習へ取り組めるようにしています。教職員も日々学びながら授業改善に取り組み、子どもたちが「できること」「わかること」「やりたいこと」を増やしていけるよう努めています。

また、教科の学習だけでなく、様々な場面で子どもたちが夢中になって活動できるようにしていきたいです。夏休み前には、委員会活動で自分の役割に一生懸命取り組む姿、トカゲを見つけ、教室で大切に飼育する姿、1年生が休み時間に職員室を訪れ、校長先生にインタビューする姿など、生き生きと活動する様子をたくさん見ることができました。夏休み明けには、運動会をはじめ多くの行事が予定されています。子どもたちが夢中になって主体的に物事に関わることができるよう、教職員一同支援してまいります。ご家庭や地域の皆様とも連携しながら、子どもたちの成長をともに喜び、一人ひとりの育ちを支えていきたいと考えています。